

ブを撮影すること自体は禁止されていないが、その場合でも不特定の人物が写りこまないよう注意しよう。

コミケットの混雑の様子や行列を撮影したり、ましてや通りすがりにサークルスペースを撮影したり、コスプレイヤーで相手の了解なく撮影したりするのは立派な盗撮であり、**その写真を公開しなければOKという性格のものではないので注意されたい**。不本意な撮影をされた、という事からケンカまがいのトラブルに発展することも十分あり得るので軽く考えてはいけない。

もしそういった撮影を目撃したら、勇気をもって注意するか、悪質なものは即座に準備会スタッフに通報してほしい。参加者と同数のカメラがあるに等しい今、参加者同士が注意しあう以外に盗撮被害は防げないのだ。

■見テ見ヌフリハ致サヌヨウニ

コミケットを支える目に見えない、重要な柱の1つが、参加者同士の連帯感だ。簡単に言えば、**みんなコミケット仲間**とでもいうべきものであり、それが、全員が参加者であるというモットーに表されている。コミケットでは、参加者同士は積極的に助け合っていくものなのだ。

会場内で困っている人や気分が悪そうな人を見かけたら、遠慮せずに声をかけて、手を貸してあげよう。

そういった参加者同士のつながりが、コミケットをより良い場所にしていく。

30年以上にわたって紡がれてきた助け合いの輪をピギナーの皆さんも是非受け継いでほしい。

■■警告！ 子供を連れて来る前に■■

参加者全体の年齢が向上するに従って子供を連れてコミケットに参加する参加者も増えてきた。しかし、大の大人でさえ疲労困憊し、時に倒れるほどの環境に親の都合だけで連れて来られるのは子供の心身に非常に強いストレスとなる。親も子連れ参加はあくまでコミケットの雰囲気を楽しみに行くもので、同人誌や企業グッズを買いまわるといのはまず無理だとよく認識しておくべきだ。

子供の安全と同人誌やグッズが欲しい気持ちを天秤にかけけるような事は、絶対にしてはならない。それを理解した上でなお、どうしても子連れで来場するというのなら以下の事柄だけは厳守してほしい。

- ① 年齢に関わらず子供には必ず迷子札を持たせる。連絡先には会場に居る親だけでなく、会場外で確実に連絡がつく親族（いない場合は友人や知人でも）のものも必ず付記する。もちろんその相手には事前に了解を取り、自分の行動スケジュールや緊急の連絡方法を打ち合わせておくこと。
（迷子札はComi-NaviのWebサイトからテンプレートがダウンロードできます）
- ② 入場待機列・販売待機列を問わず行列に並ぶのを避ける。また、会場滞在時間を極力短く切り上げる。具体的には入場待機列が無くなる正午過ぎの来場／閉会後の混雑を避け15：00前の退場を。
- ③ 少なくとも1歳以下の乳児は絶対に連れてくるべきではない。それより大きくても子供は大人より環境変化に弱く、体調も崩しやすいので、自分の基準ではなく子供の様子をこまめに確認し、食事時間も内容を守って摂るようにすること。それでも不機嫌になったり、元気がない様子が少しでも見られたら即帰宅の判断を。子供に『我慢しなさい!』は禁句だ。
- ④ 自分で動き回れるようになった～小学校低学年あたりまでの子供が最も迷子になりやすい。絶対に目を離さないのももちろん、可能な限り迷子防止ベルトなどを使用しよう。ただし背が低く小柄な子供は混雑の中にいる参加者の視界に入りにくいのでベルトをひっかけられないよう注意。また、万一はぐれた場合の待ち合わせ場所を決め、迷子札と共に書いて持たせておくこと（携帯電話は会場内ではほとんどの時間帯役にたたないので、持たせても逆にパニックの元になりかねない）。
- ⑤ ベビーカーは会場内では大迷惑の上、高さ的に他の参加者の荷物が子供まで届いてしまう。また、おんぶも子供の様子が見えず、方向転換の際に周囲の参加者と接触する危険が大きいので、子供は体の前に抱くしかない。ただし抱っこ紐やスリング類は非常に熱が籠りやすいので普段以上にこまめな状態のチェックと休憩が必要だ。
- ⑥ 子供を男性向け・女性向けを問わず成年向けの本を頒布しているエリアに連れて行かないこと。**内容を見せなければ良いというわけではないので注意**。これは親だけでなく周囲の大人の責任でもあり、サークル側も、もしこういった親子を見かけたら成人向けの本を販売しない、エリアからの退出を促すといった明確な態度を心がけて欲しい。

